

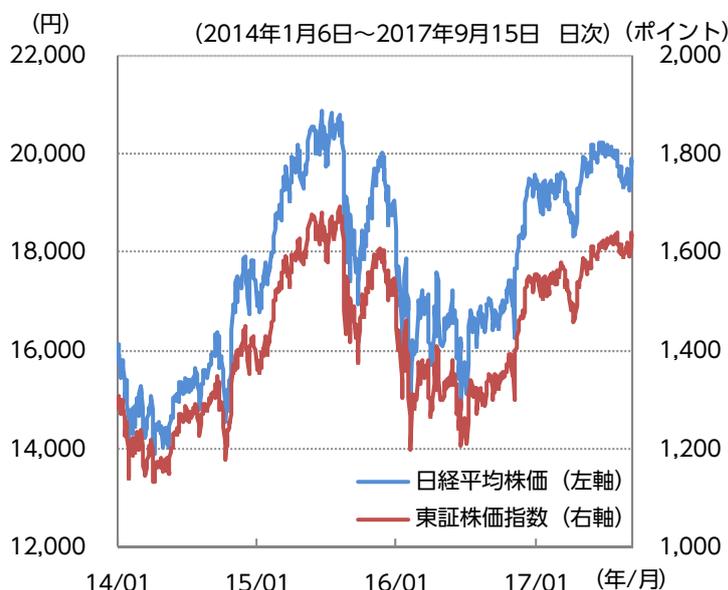
週間市場レポート

(2017年9月11日～9月15日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米国と北朝鮮の軍事衝突を回避できるとの見方が広がり週を通じて概ね上昇傾向となりました。14日（木）に地政学リスクの高まり等から4営業日ぶりに反落したものの、週末はおよそ1か月ぶりの高値で取引を終えました。（週末引け値：19,909.50円）
- 週間では、日経平均株価は3.29%の上昇、東証株価指数は2.85%の上昇でした。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。株式の上昇を受けて、週を通じておおむね上昇傾向となりました（価格は低下）。北朝鮮の弾道ミサイル発射を受け、相対的に安全資産とされる国債には買いが先行したものの（利回りは低下）、週間では利回りは上昇となりました。（週末引け値：0.029%）
- 週間では、0.025%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。ハリケーン『イルマ』の被害が想定を大幅に下回るとの観測が広まったことや、北朝鮮の弾道ミサイルが発射されたものの、影響は限定的であったことから週を通じて上昇となりました。
（週末引け値：22,268.34ドル）
- 週間ではNYダウは2.16%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。北朝鮮問題や米国のハリケーン被害に対する懸念後退などから投資家のリスク選好意欲が回復し、週を通じて円を売って米ドル建ての資産を買う動きが優勢となりました。（週末引け値：110円80銭～90銭）
- 週間では米ドル/円は2.77%の円安、ユーロ/円は2.03%の円安となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。